

第 2 回 JCC (Joint Coordinating Committee)

2010 年 1 月 14 日午後、本プロジェクトにとっては 2 回目となる JCC を開催しました。JCC (Joint Coordinating Committee) というのは、プロジェクトの活動方針を決定する最も大切な会議で、いわばプロジェクトの理事会のようなものです。JCC メンバーは RD (Record of Discussion) という政府間の取決めの文書で決められており、プロジェクトの実施機関、その他のタイ側関係者、日本側 (ICA タイ事務所)、日本人専門家で構成されています。今回は JICA タイ事務所を代表して大西所長もご参加下さいました。日本大使館からも毎回オブザーバー出席していただいております。JCC の議長は、プロジェクトディレクターの社会開発福祉局ヤニー副局长が務めました。

第 2 回目となる今回の主要議題は、プロジェクト開始以来の進捗状況を検証し、来年度の活動計画を決めることでした。

先ずプロジェクトの進捗状況ですが、プロジェクトマネジャーの人身取引対策部サワニー部長が、前回の 6 月の JCC で提示した今年度の活動計画に基づき、これまで実施したことおよび現在進行形の活動を説明しました。説明では、昨年 10 月末には MDT メンバーの能力強化のためのワークショップを実施したこと、11 月末から 12 月初めには、タイから 15 名の MDT メンバーが参加して日本でワークショップを実施したこと、そしてその報告会を開催したことなどの活動を報告しました。さらに本年 2 月には、周辺のカンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナムから

の参加者を招いて、メコン地域ワークショップを開催することも説明しました。

来年度のプロジェクトの活動計画ですが、最も大きな活動は、MDT の実施マニュアルのドラフトの作成です。MDT といってもその活動は、救援、シェルターなどでの緊急および長期の保護、法的支援、本国への帰国支援やコミュニティへの帰還支援、さらには長期的な自立支援と続きますので、マニュアルも簡単ではありません。来年度はプロジェクトの正念場になりそうです。



皆さま方のこの分野のご経験をご教示いただければうれしく思います。

来年度は、他にも、プロジェクトの対象地であるチ

ェンライ県、パヤオ県の MDT 活動の成果を検証するためのワークショップを開催して、活動の成功につながる要因を析出したいと考えています。さらに、プロジェクトでは、本年度同様、MDT メンバーの能力向上とネットワークの強化のためのワークショップの実施、本邦研修、メコン地域セミナーも計画しています。

プロジェクト活動の基礎固めに追われていた初年度とは異なり、来年度は、いよいよ展開期を迎えます。どうぞ楽しみにしていて下さい。また、これらの活動の実施に当たっては皆さま方のお知恵をお借りすることも多くなるかと思えます。何卒よろしくお願い致します。